



JRC部の私にできること

愛知県立岡崎東高等学校 1年 青山 くるみ

JRC部の一員として私たちに何が
できるかを考え、今年の文化祭は、西
日本豪雨義援金のためのチャリティー
販売と献血紹介の活動に取り組みまし
た。来場者に献血の説明をして、少し
でも10代の方に献血に対して興味を
もってもらえるようにしました。「献
血に行ってみるね」という声も聞くこ
とができ、充実した活動となりました。



〈文化祭で献血紹介〉

元気いっぱい 笑顔いっぱい

半田市立青山中学校 2年 竹田 和貴

青山中学校では、毎月「あいさつ運動」を
生徒会、各学級の当番、先生、保護者の方と
一緒にしています。その際には、市内の児童会・
生徒会に引き継がれているいじめ根絶を目指
す「スマイル宣言」や、インターネットを使
う心構えである「ネット五原則」の啓発活動
もしています。また、「あいさつ運動」は他学
年との交流の場でもあります。これからも仲
良く、元気に笑顔であいさつをしていきます。



〈元気いっぱい 笑顔いっぱい 優しい学校の学校に！〉

あいさつで学校を明るく

岡崎市立大門小学校 6年 八川 琥太郎

ぼくの学校では、学校をもっと良くす
るために「大門キッズセッション」とい
う話し合いを行っています。そこで決
まったテーマが「笑顔であいさつをして
地域の輪をひろげよう」です。最初は恥
ずかしかつたあいさつも、今では大きな
声でできるようになりました。みんなの
あいさつがもっと増えて、明るい学校を
目指していきたいです。



〈大門キッズセッション〉

世界の人たちとふれあって

名古屋市立山吹小学校 5年 横目 綺

ブラジル、フィリピン、ラトビア、ス
ペインの人が、国の文化や料理、日本
で驚いたことなどを話してくれました。
その国の遊びもしました。日本の駄菓
子をあげたら喜んでくれました。いろ
んな国について興味をもち、あいさつ
や食べ物、生活などを調べました。お
互いを知り認め合うことが、世界と仲
良くなることにつながると思いました。



〈リーダーシップトレーニングセンターに参加して〉

あいち青少年赤十字



No.128 日本赤十字社愛知県支部
令和2年1月発行

人間を救うのは人間だ Together for humanity

身近なことから始めよう ～気づき・考え・実行する～

全校に赤十字を伝える

刈谷市立東刈谷小学校 6年 尾崎 利奈

私は夏休みにトレセンに参加しまし
た。その中で東刈谷小の子たちは赤十字
についてよく知らないことに気づきまし
た。そこで私は「赤十字集会」を企画し、
劇やポスターなどで伝えられたらと考え
ました。2学期の始業式では、活動につ
いて発表しました。今後も、みんなに興
味をもってもらえるよう広めていきたく
と思います。



〈トレセンでの発表〉

お互いに尊重し合って

稲沢市立治郎丸中学校 1年 榎間 菜子

総合学習の時間で、電動車椅子につ
いて学びました。電動車椅子はたいへ
ん重く、生徒4人でも持ち上げること
が難しかったです。段差がある場所
にはスロープを取り付けるなど、誰もが
自由に移動できる社会にしていかな
ければならないと感じました。世界中
の人が、お互いに尊重し合って生活で
きるように努めたいと思います。



〈さあ、みんなで支えよう！〉

笑顔いっぱいの学校へ

豊橋市立向山小学校 6年 野末 駿

あいさつが増えて、より笑顔いっ
ぱいの学校にしたいと思い、6年生の中
で「あいさつチーム」を結成しました。
あさ朝、校門の前に並んで「あいさつ花
道」をつくらうと計画しました。「あ
いさつ花道」には、多くの児童が参加
して、登校した児童に大きな声で笑顔
であいさつを交わっています。これか
ら笑顔あふれる学校をぞくぞくとします。



〈みんなで元気いっぱいのあいさつをしよう〉

豊南の薔薇を地域の方々に

豊田市立豊南中学校 3年 鈴木 咲耶

私が副委員長をしている整備美化委員会では、薔薇の贈呈を
行いました。豊南中学校の伝統である薔薇を、日頃お世話になっ
ている地域の小学校や駅、老人ホームなどに贈呈して感謝の気
持を伝えようという取組です。私たち、整備美化委員が朝早く
学校に集まり、きれいな薔薇を選んで、あふないトゲをとったり、
できるだけ長くもつような工夫をしたりして花束を作り、地域
の方々に感謝の気持ちを伝えました。とても喜んでもらえて、
私もうれしい気持ちでいっぱいになったので、これからも豊南
中学校の伝統である薔薇を大切に育てていきたいと思っています。



〈ばらの花束を作る〉

支部通信



〈空港到着〉

モンゴル国際交流

青少年赤十字の実践目標の一つ「国際理解・親善」を実現する
ため、日本赤十字社愛知県支部では、平成19年からモンゴル赤
十字社の青少年赤十字メンバーと国際交流を行っています。今年度
は、7月29日(月)～8月
3日(土)までの6日間、愛
知県・岐阜県のJRC加盟校
の中高校生、指導者、看護
師、職員の方計16名でモン
ゴル・ウランバートル市を訪
問し、交流を深めました。モン
ゴルの青少年赤十字メン



〈ユースキャンプ風景〉



〈民族衣装体験〉

り、お互いの文化紹介を行ったりしました。最初は慣れない環境
や言語の違いに戸惑うこともありましたが、アニメや音楽の話題

バーは「若い力で赤十字活
動を盛り上げていこう」と
いう熱い気持ちをもって、
主体的に取り組んでいるこ
とがわかりました。
モンゴルでは、ユース
キャンプ場でモンゴルメン
バーと一緒にグルに宿泊し
たり、スポーツ大会をし
たり、



〈支部での文化交流〉

などをきっかけに、すぐにモンゴルメンバーと打ち解けることが
できました。あつという間の6日間でしたが、一生忘れられない
大切な思い出がたくさんできました。最終日
には、「まだ帰りたい。もっと交流したい」と、多くのメンバ
ーが涙を流して別れを惜
しみました。
日本赤十字社愛知県
支部では、広く世界の

青少年を知り、仲良く助け合う精神を養う「国際理解・親善」の
ため、これからも国際交流事業を続けていきます。



〈馬頭琴体験〉



〈涙のお別れ〉